

Ⅰ 目的

「ブナ林とその周囲の環境や人々の生活」を科学的な視点で調査し、考察したことを共有する中で、中山間地について理解をより深め、課題発見につなげる。

Ⅱ 概要

- ① Ⅰ０名程度のグループごとにインストラクターとともに、林内にて自然観察を行う。直に触れることにより、自然について体験的に学習する。
- ② それぞれに課題をもち、科学的な観点で調査を行う。
- ③ 調査結果を相互に共有し、視点を明確にしておき、事後の授業での学習につなげる。

Ⅲ 期間：令和６年５月２３日（木）

Ⅳ 場所：なべくら高原 森の家 長野県飯山市照岡Ⅰ５７Ⅰ－Ⅰ５ Tel；0269-69-2888

Ⅴ 参加生徒：Ⅰ年生 普通科・スポーツ科学科

Ⅵ 報告レポート

午前はⅠ０班に分かれてブナ林研修をした。Ⅰ班にⅠ名インストラクターの方についてもらい、ブナ林内の植物のことやブナ林と人里との関係について学んだ。説明を聞きながらメモを取ったり写真を撮ったりして班の中で工夫をしながら記録に残していた。普段の授業で得た知識をブナ林の観察に活かしていた。





午後はアロマキャンドル作り、パン作り、苔テラリウム作り、草木染めの4班に分かれてアクティビティを体験した。草木染めはワラビ・アケビの2つの植物をそれぞれ煮だして染めた。アロマキャンドル作りは、好きな色に着色し、キャンドルの中にお花を散らしたりして自分好みのデザインにした。パン作りでは火起こしから行い、炭火で焼いたパンからいい香りがした。苔テラリウムは自分で苔を採取し、黙々と製作していた。

飯山の自然の中で五感を使って体験的に学んでいた。

